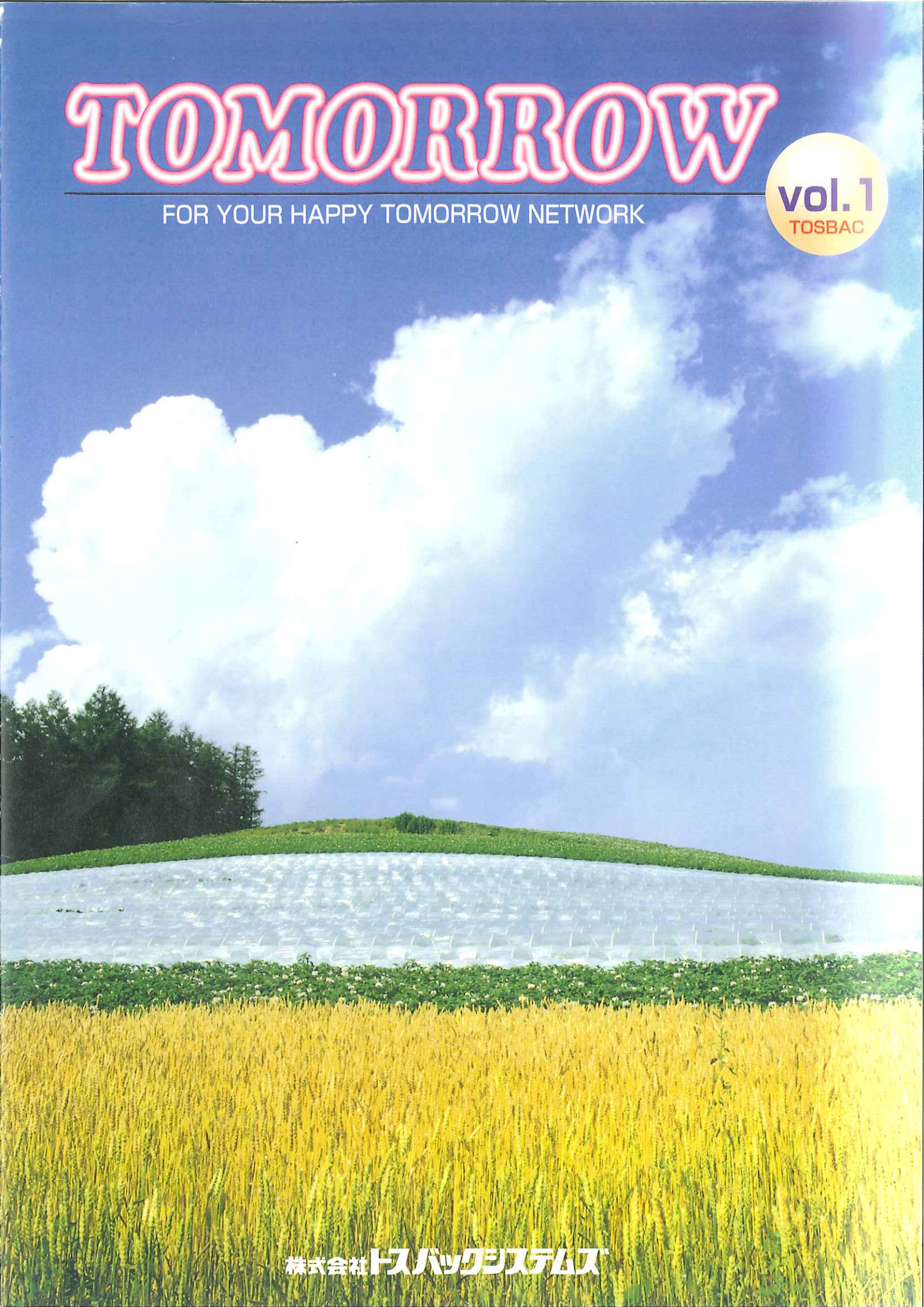
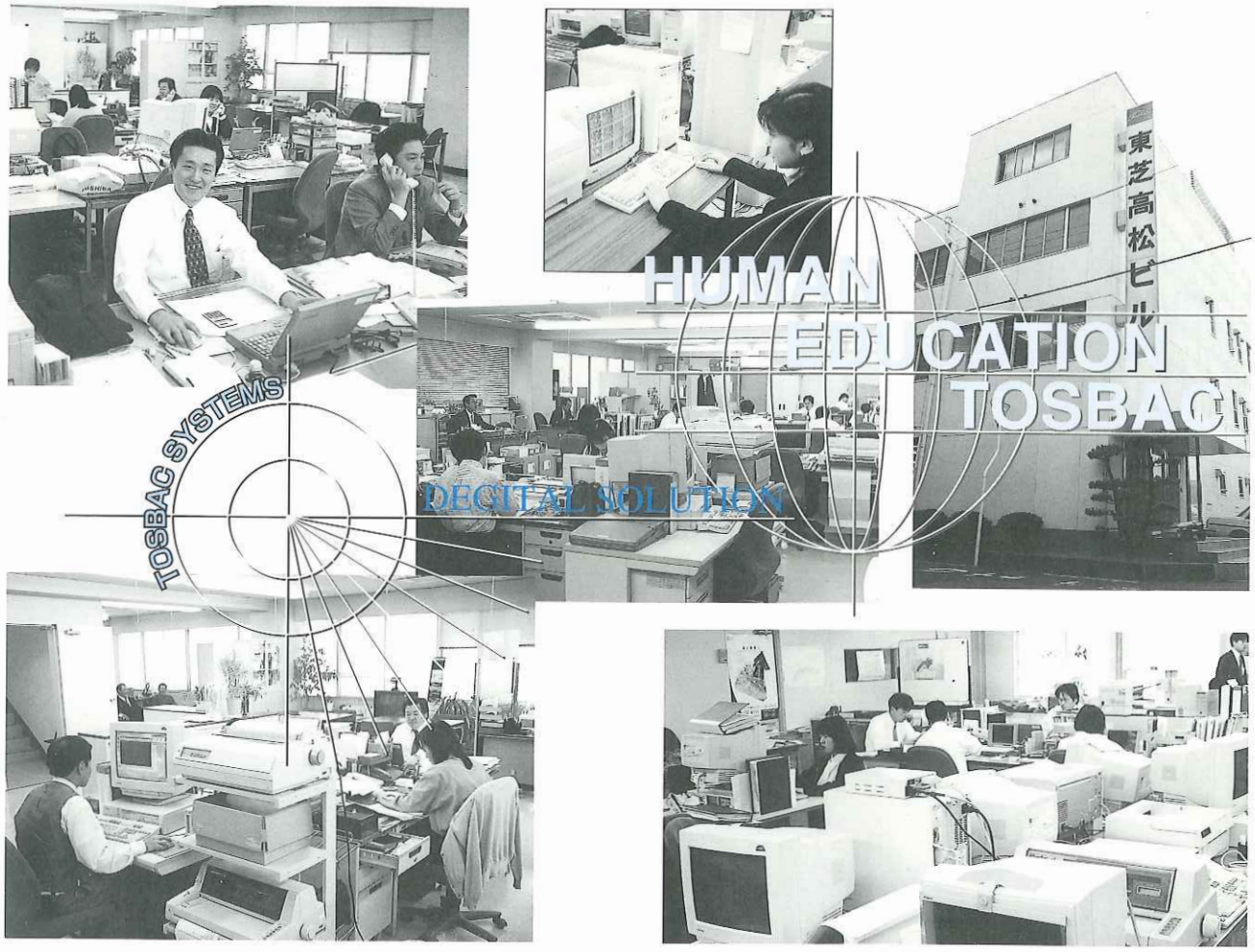
TOMORROW

FOR YOUR HAPPY TOMORROW NETWORK

vol. 1
TOSBAC



株式会社トスバックシステムズ



創刊にあたって･･･

平素は弊社情報機器をご愛顧賜り厚く御礼申し上げます。

情報機器を取り巻く環境は、ここ数年で大きく変貌しておりオフィスコンピュータに代表されるメーカー独自のシステムから共通のアーキテクチャを採用したオープンシステムへと変化し、インターネット等、より身近にコンピュータを御利用頂けるようになりました。

これまでの弊社の役割は、メーカーとより強いパイプを結び、常に最新で安定したシステムとサービスの提供を責務と考え、ユーザーの皆様方の信頼を得るよう、社内の営業、技術レベルの向上に努めてまいりました。

そして、新しいオープン環境に於いてさらにご信頼を頂くため、2000年に向かって新しい時代に合致した事業改革を進めてまいります。

弊社の新しいミッションは、システムソリューションプロバイザーおよびマルチベンダーとして、お客様の要望される情報システムを構築し提案していくものです。東芝を始め各メーカーのオープンシステム対応機器や各種Ｉ／Ｏ、およびソフトベンダーのソフト、新世代言語、リレーショナルデータベースなどを選択検証しシステム構築に対して、もっとも最新で安定性のある推奨品をご提供していきます。また異機種間接続技術を含めた質の高い技術力と的確な業務分析能力で、価値のあるコンピュータシステムとトスバックテクニカルサポートメニューによるアフターサポート体制で充実したコンピュータ利用環境の提供もおこなっていきます。

この度創刊致しました“ＴＯＭＯＲＲＯＷ”は弊社とお客様を結ぶ情報誌として、最新技術の動向、新製品情報、講習会開催案内等の情報提供の他、ユーザ様のコンピュータシステム御紹介等も企画し、今後の情報システム構築、運営の一助になることを目的と致しております。

何卒、御愛読いただき充実した情報誌となるよう皆様からの率直な御意見を賜りたく、御支援、御指導のほどお願い申し上げます。

尚、末筆ではございますが御客様各位の益々の御清祥を祈念申し上げます。

株式会社トスバックシステムズ
代表取締役社長 松 村 俊 幸

トスバックシステムズ

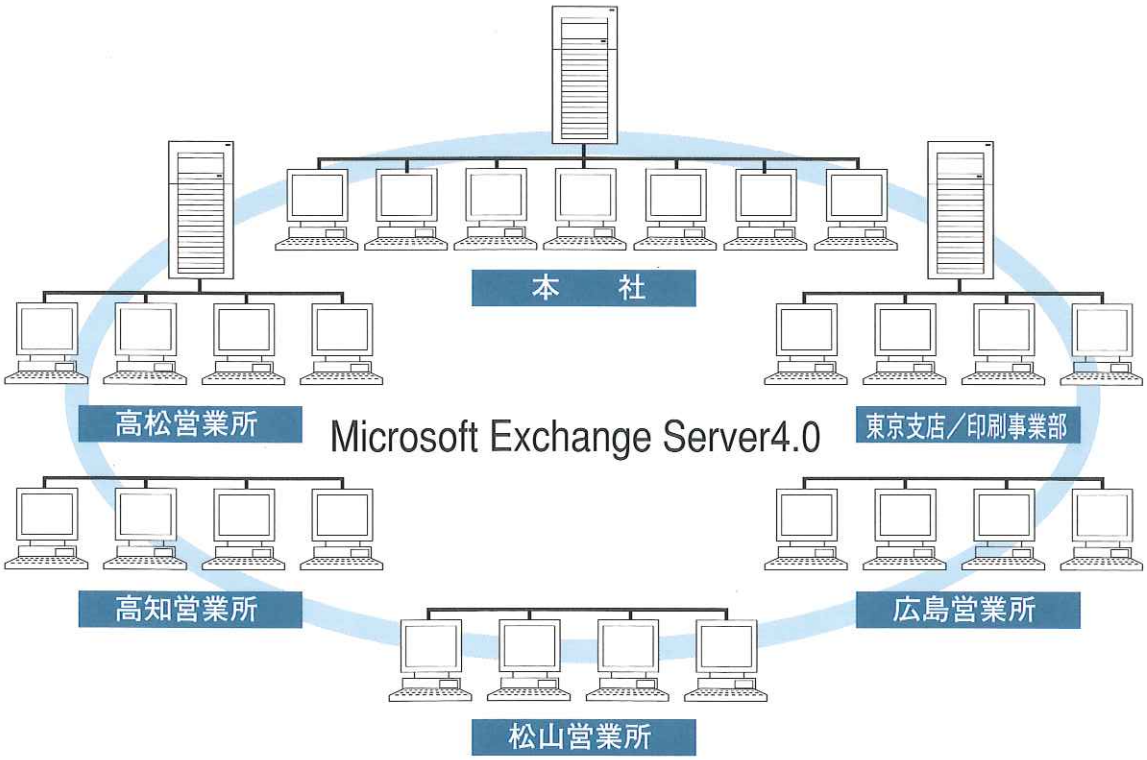
社内ネットワークシステムのご紹介

当社では、1996年9月より従来自社ネットワーク用OSとして利用していたNovell社のNetWareをMicrosoft社のWindowsNTへ全面移行しました。その際、ハードウェアも既存のDynaBookに加え新製品のSatellite110を導入し、社内機器所有率を40%から100%まで引き上げました。また、同時に各営業所にそれぞれサーバーを設置し、ISDN回線による全社ネットワークを構築しました。

電子メールも従来のLotus社のcc:MailからMicrosoft社のMicrosoftExchangeに移行し、社内文書や報告書をメールや電子掲示板を使い作業の効率化、ペーパーレス化を実現するとともに、Schedule+などを使った個人のスケジュール管理や、タスク管理などを可能にしました。

また、これまで個別に使用していたファイルやプリンタなど高価な周辺機器もネットワークを通じて共有化することにより、大幅な経費削減や作業効率のアップにつながりました。

将来的には、ISDN回線を利用して、インターネットなど使ったお客様へのリモート保守やSESサポートを考えています。



本社ネットワーク構成機器

サーバ	
本　体	GS500
C P U	Pentium166MHz
メインメモリ	32MB＋64MB
ハードディスク	2GB×3＋2GB
O S	WindowsNT Server3.51
電子メール	Microsoft Exchange

クライアント	
本　体	Satellite110,DynaBook他
C P U	Pentium100MHz
メインメモリ	8MB＋8MB
ハードディスク	810MB
O S	Windows95
オフィスツール	Microsoft Office 95

ユーザー事例紹介　(株)ファイブフォックス殿

双方向型店舗ＰＯＳにより戦略的情報システムを構築

900店舗、7万アイテムのＰＯＳネットワークシステムを実現

(株)ファイブフォックスでは、POSデータを効率よく本部に吸い上げ、売筋商品を品番単位で把握し、そのデータを戦略的に活用する店舗管理システムを構築した。このシステムは店舗内POSから他店舗在庫を随時に照会できるなど、双方向のデータ利用体制を確立しているのが特徴だ。ネットワークは、高速デジタル回線により最大80店舗からの同時アクセスが可能。

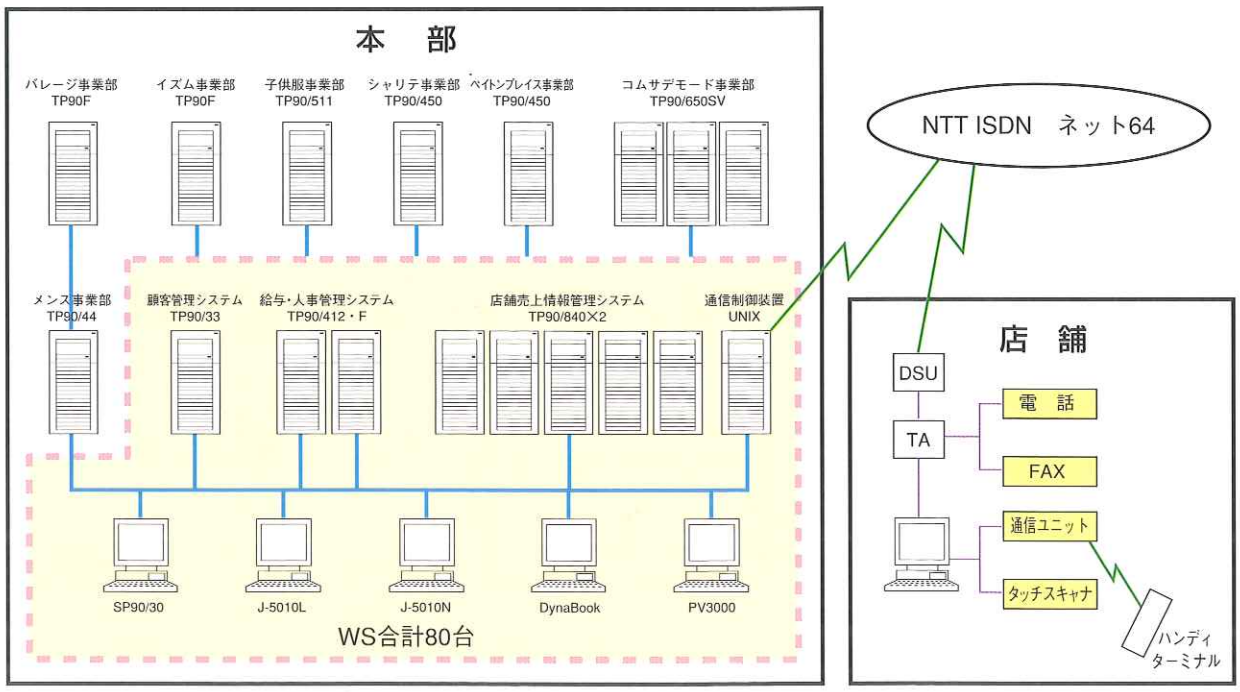
品番単位で在庫確認可能な POSネットワークシステム

多店舗展開している企業では、店舗の売上データをいかに効率よく本部に集約し、経営に活かしていくかが重要な課題だ。この課題をPOSと(株)東芝の『TP90シリーズ』で実現したのが、コムサデモードなどのＤＣブランドで知られるアパレルメーカー(株)ファイブフォックスである。

(株)ファイブフォックスのコンピュータ導入は、1986年から始まった。DCブランドブームに業界が沸き立つなか、毎月20～30店舗のペースで店舗は増えるばかり。本部の担当者が店舗からの売上報告を手作業で集計することでは当然対応できない。(株)東芝のオフコン「Q-500」を導入して、店舗の売上集計処理を省力化、合理化したのである。

その後、企業の急成長を追いかける形で、店舗売上管理の能力アップと共に、全社レベルでの売掛/買掛管理、経費管理、給与/人事管理などを相次いでコンピュータ化してきた。企業コンセプトの転換を意識したのは、1989年頃のことだ。(株)ファイブフォックス・経理本部の皆迫昌平取締役本部長は言う。「DCブランドは成熟市場になってきました。当社としては、DCアパレルメーカーから脱皮して、総合アパレルメーカーに転換していかなければなりません。そこで重要になったのが情報の中身とスピードです。的確に売筋／死筋を把握し、店舗ごとに特徴を活かした商品戦略を立案するには、これまでより詳細なデータをよりスピーディに収集し、管理するシステムが必要でした」

これまでのシステムでは、ブランド単位での商品管理が限界であり、品番をキーとする単品管理まではとてもできない。そこで1992年、デパート等のINSHOP店と、直営店の合計1000店舗の内、約200店舗を選んで双方向のPOSを導入。(株)東芝のTP90/73（1995年TP90/820　1996年 TP90/820を追加　同年TP90/840×２式にアップグレード）により、オンラインで売上データを集約する店舗管理POSシステムを構築したのである。1997年３月末現在900店舗にPOS設置を行った。



経理本部　取締役本部長
皆迫昌平氏

経理本部　計数課係長代理
奥野仁成氏

(株)ファイブフォックス

- 本　社　　東京都渋谷区千駄ヶ谷3-60-7
- 設　立　　1976（昭和51）年12月8日
- 資本金　　7,750万円
- 年　商　　940億円
- 代表取締役社長　　上田　稔夫
- 店舗数　　1,200店舗
  （直営800店　INSHOP200店　FC200店）
- 事業内容　「コムサデモード」「バジーレ」「ペイトンプレイス」等のブランドで知られるアパレルメーカー。ＤＣアパレルメーカーとしての急成長を経て、現在は総合アパレルメーカーとして、業績を順調に伸ばしている。

他店舗在庫の照会で売上機会逸失を未然に防ぐ

店舗管理POSネットワークシステムは、店舗側でも、本部側でも省力化に大きく貢献した。　操作は簡単になり、情報の精度は向上した。品番単位で効率よく商品管理ができる。７万アイテムにのぼる品番データベースは、大容量のTP90/840×２式が確実に管理する。スキャナーを使ったJANコードの読み込みにより、POS入力や毎月の棚卸も正確にかつ短時間になった。色やサイズ毎に売上動向がつかめる為、本部での分析、店舗への指導がきめ細かくできるようになった。さらに大きなメリットは、店舗内のPOSから本部のTP90/840に随時アクセスして、自店および他店の在庫を自由に確認できることだ。「これまでは御客様からの注文品が自店にないと他店に電話で問合わせていました。また、デパートなどでは倉庫が離れており、自店の在庫を確認するだけでも大変でした」（奥野係長代理）。現在では、NTTのISDNネット64・DDX-Pを介して、いつでもすぐに在庫を照会し、お客様の注文に応えることができる。売上機会の逸失を防ぐのに大いに役立っている。
本部のTP90/840とDDX-Pとの間は４本の高速デジタル回線で接続されており、最大80店舗からの同時アクセスが可能だ。

より戦略的な情報活用を目指す

(株)ファイブフォックスでは、ブランド毎に事業部制をとっている。TP90シリーズの導入は、本部のTP90/840を中核に、事業部単位でも進行中だ。
各事業部はそれぞれ本部のTP90/840と接続し、全ブランドを対象とする店舗管理システムから必要なデータを取り出し、事業部ごとに独自の戦略的な販売指導、商品企画に活用している。

1997年には、佐川急便の流通倉庫にTP90/650SVDを導入する。これは、各事業部で行っている全国1200店舗への商品の配分計画データを基に商品のデリバリおよび倉庫の在庫管理をリアルタイムに行い、店舗からの在庫照会に対応する。

また、事業本部に次期顧客管理システムの導入を計画中だ。これは、これまで単独で行ってきた顧客管理システムの情報活用を向上させるのがねらい。(株)ファイブフォックスでは、一定金額以上の購入客をゴールド会員として登録し、企画に応じて対象を絞り込んだDMを行ってきた。大容量のTP90シリーズ導入で会員情報に購買履歴を加えることができる。また、売上データと連動した顧客管理システムの構築により、顧客情報をより戦略的に活用していく計画だ。「収集した情報の活用度をより高めていきたい」と皆迫本部長は言う。売筋と死筋の把握と、店舗ごとの傾向分析は、今回の店舗管理システムでスタートした。今後はPOS導入店舗の導入効果をさらに高め、その成果を活かしながら、全店舗へのＰＯＳ設置を拡大する計画だ。「最終的に目指しているのは、商品企画から、製造、営業、経理まですべてをつないだ製販一体の体制づくりです」と皆迫本部長は力を込める。

TP90
SERIES

このユーザー事例についての詳しいお問い合わせは、
株式会社トスバックシステムズ東京支店までどうぞ。

オープントレンド

32ｋｂｐｓモバイル通信

ＰＨＳでモバイルコンピューティング

４月１日より、PHSを用いた32kbpsでの新デジタル通信サービスが、アステル・NTTパーソナル通信・DDIポケットの３社で一斉に開始されました。「PIAFS」と呼ばれる業界標準規格によるこのサービスの概要を紹介いたします。

PIAFS（ピアフ）

PIAFSとは「PHS Internet Access Forum Standard」の略で、PHSでデジタル32kbpsのデータ通信を行うための業界標準規格である。

PHSでは、これまでもイヤホンマイク端子からアナログモデムに接続する「みなし音声」による4800bps～9600bps程度の通信が可能であったが、PIAFSによる32kbpsデジタル通信は、通信の安定度、約３倍の通信速度、ダイヤルから接続までの時間が短いなどのメリットがある。

この新しいデータ通信サービスの利用として

・インターネットにアクセス
・社内サーバにアクセス
・端末同士の通信

などが考えられる。

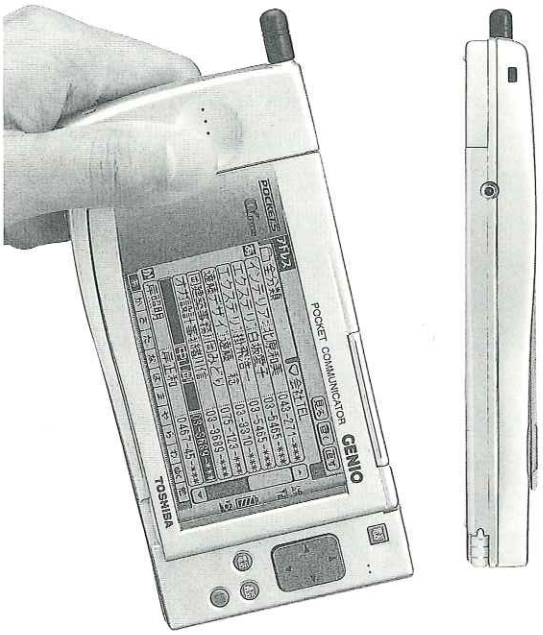
新データ通信サービスの構成

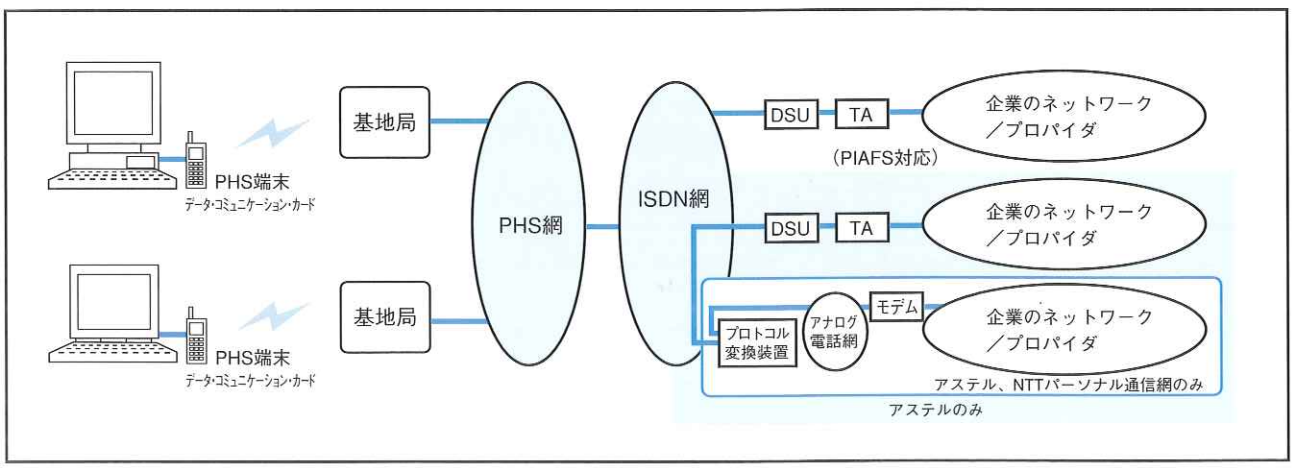
データは、PHS端末からPHSの基地局（PHS網）に行き、さらにISDN網（INSネット64）を通ってプロバイダやオフィスに到達する。ISDN網は64kbpsなので、PIAFSの32kbpsデータは64kbpsにマッピングされ、「みなし64kbps」ともいうべき状態で流れる。このためプロバイダなどの接続先がPIAFSに対応するためには、この「みなし64kbps」を送受信できる「ＴＡＰ」と呼ばれるPIAFS専用のＴＡを用意する必要がある。TAPのない接続先については「プロトコル変換装置」によって28.8kbpsのアナログに変換して接続する。「プロトコル変換装置」の利用には、変換装置までのPHS通話料金に加えて、10円／分の利用料金（全国一律）が課金される。この「プロトコル変換」方式は、NTTパーソナル通信網とアステルの方式であり、DDIポケットは「αDATA」方式により追加料金なしに既存のアナログの14.4kbps及び同期64kbpsの接続先が利用可能である。「プロトコル変換装置」の設置場所はNTTパーソナル通信網、アステル共に、サービス開始当初は東京都内のみとなる。

PIAFS対応製品

PHS電話、インターネット、電子メール、電子手帳の４つの機能を備えるPHS一体型端末で、PIAFS、αDATA両対応。回線はDDIポケット。

東芝ポケットコミュニケータ
GENIO





TSインフォメーション

印刷システム事業部の発足と印刷業向パッケージの発表

平成９年４月21日（月）より、新しく印刷システム事業部が発足しました。本事業部は、印刷業専門のスタッフによる印刷業総合システムの開発と販売を行います。東京（弊社東京支店内）と広島（東芝中国支社内）を事業拠点として、全国展開を図って行くつもりです。また、同時にパソコン版の印刷業パッケージ『ひだりうちわ　Ｃ／Ｓ』の発売も開始しました。

［印刷業システム問い合せ先］
本社担当：米井（TEL.0878-23-6380）
東京担当：岡谷（TEL.03-5469-5631）
広島担当：土井（TEL.082-242-8900）

「東芝オープンソリューションフェア'97」開催のご案内

サンメッセ香川において、来たる7月に「東芝オープンソリューションフェア'97」が開催されます。当フェアは、本年3月に有楽町の東京国際フォーラムで開催されました『TOMORROW21東芝技術展』の展示コーナーより、情報・通信に関したものをご紹介し、東芝の技術成果を“新しい社会・新しいライフスタイル”のコンセプトとして提示させていただくものです。

出展コーナーとしては、最新のDVD機器・マルチメディア・ネットワーク・携帯型端末（モバイル）・各種業務システム・東芝新製品機器などが予定されています。

また、セミナーも予定されていますのでぜひご来場ください。トスバックシステムズにおきましても、新製品ソフトをはじめ実績のある業務・業種システムを展示いたしますので、ご来場の際は、ぜひお立ち寄りください。

開催日時：平成9年7月3日（木）～4日（金）
　　10：00～17：00
開催場所：展示コーナー／サンメッセ香川2F大会議室
　　セミナー会場／サンメッセ香川2F中会議室
主　　催：株式会社東芝
協　　賛：(株)トスバックシステムズ、TIE、TEC他

▼ MiniMini パソコン講座 ▼

～ ワープロの文書は使える？ ～

これまでワープロ専用機を使っていて、書きためた文書をWindowsでも使いたい！という場合ありませんか？

ワープロの文書はWindowsでも使えます。ただし、倍角文字や表の罫線など、ワープロでのレイアウトを生かしたい場合は、ワープロ専用機のファイルをパソコン用に変換するソフトが必要になることがあります。「リッチ・テキスト・コンバータ」（アンテナハウス）などが有名です。

文字データだけが必要、という場合は、ワープロ専用機のＭＳ－ＤＯＳテキストファイルへの変換機能を使いましょう。よほど古い機種でない限り、この機能がついているはずです。

（資料－日経ＢＰ社発行日経ＢＰムック）

春夏秋冬

風薫るさわやかな5月。実にすがすがしい季節ですね。気温でみると、各地の５月の平均気温は札幌で12度、東京18度、那覇23度。沖縄ではこの季節を「若夏」と呼ぶそうです。ちなみに、人が「快適」と感じる気温は、日平均気温が15度から22度くらいとのこと。風が心地よいこんな季節は、ドライブや旅行に出かけたり、ランチタイムを外の公園などで過ごすのもリフレッシュになりますね。

編集後記

この度は“TOMORROW”をご覧いただき誠に有り難うございます。初のユーザー会報ということもあり、お見苦しい点については、この欄をおかりしてお詫び申し上げます。

弊社は、これからもこの“TOMORROW”を通してお客様にコンピュータに関する最新の情報をお伝えしていくつもりです。

また、お客様からもどんどん情報をお寄せいただき、“TOMORROW”ので中でご紹介していきたいと考えております。そこで、弊社担当営業または技術がご訪問させていただきました際には、様々な情報（どのようなことでも結構です）、ご意見ご感想などをお聞かせください。お待ちしております。今後とも“TOMORROW”をどうぞ宜しくお願い致します。

TOSHIBA

より高い信頼性と新設計の美しさ

INFINIA

高性能ホームパソコン、インフィニア

- ●MMX®テクノロジPentium® Processor 166MHz/200MHz
- ●高画質・高音質・長時間再生のDVD（7200J2モデル）
- ●3Dアクセラレータチップ S3社ViRGE/DXを搭載
- ●やさしく便利に使える“インタッチ”
- ●最大3GBの大容量ハードディスク(7200J1,7200J2モデル)
- ●EDOメモリを標準で32MB搭載
- ●マイクロフィルター™管を採用、鮮明なディスプレイ(17型のみ)
- ●サブウーハー搭載ステレオスピーカー
- ●データ33,600bps、FAX14,400bpsボイス機能付モデム
- ●パームレスト付き、新型キーボード
- ●4ボタンゲームパッドを標準で添付

EQUIUM

高性能ビジネスラインナップ「エクィアム」

- ●MMX® Pentium® Processor 166MHz/200MHz
- ●高性能PCIチップセット搭載
- ●平均12倍速CD-ROMドライブ
- ●100BASE-TX対応LANインターフェース
- ●データへの信頼性を高めるECCメモリ
- ●新設計パームレスト付キーボード
- ●スリープ／ウェイクアップ機能

株式会社トスバックシステムズ

本　　社／高松市朝日町2丁目2番22号　東芝高松ビル3F
TEL.0878-51-5357(代) FAX.0878-51-5441
東京支店／東京都渋谷区神宮前6丁目18番5号　鷹羽ビル5F
TEL.03-5466-9290(代) FAX.03-5466-2524
印刷事業部／東京都渋谷区神宮前6丁目18番5号　鷹羽ビル5F
TEL.03-5469-5631(代) FAX.03-5466-2524
高松営業所／高松市朝日町2丁目2番29号
TEL.0878-23-6380(代) FAX.0878-23-6383
松山営業所／松山市一番町4丁目1番1号　三井生命ビル3F
TEL.089-933-8235 FAX.089-933-6679
高知営業所／高知市廿代町6番13号　岡村化成ビル4F
TEL.0888-24-1413(代) FAX.0888-24-1483
広島営業所／広島市中区大手町2丁目7番10号　東芝中国支社内
TEL.082-242-8900(代) FAX.082-504-4121

TOMORROW
株式会社トスバックシステムズ
●平成9年5月15日発行
●通巻1号
●発行所／事業企画推進部
●発行人／松村俊幸
●編集人／岡田奈津子
●印　刷／有限会社アクセル